

平成26年度予算見積調書

課室名：住宅課
担当名：企画担当
内線：5581

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B32	共助による高齢化団地活性化モデル事業費			一般会計	土木費	住宅費	住宅建設費	共助による高齢化団地活性化モデル事業費		
事業期間	平成26年度～平成27年度	根拠法令	なし				戦略項目	12	日本一の共助県づくり	
							分野施策	010406	住まいの安心・安全の確保	
1 事業の概要 本県で急速に進む高齢化は県営住宅においても同様であり、古い県営住宅ほど顕著である。 そこで高齢化が進んでいる県営住宅のコミュニティを活性化させるため、特別県営シラコバト団地において共助によるコミュニティ活性化のモデル事業を実施する。 (1) 学生入居による団地活性化事業 7,500千円 (2) 学生リフォームによる団地活性化事業 6,100千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 学生入居による団地活性化事業 7,500千円 学生入居用シェアルームへの改修(5戸) イ 学生リフォームによる団地活性化事業 6,100千円 建築系大学生によるリフォーム(子育て世帯向け)(3戸) (2) 事業計画 ア 平成26年度 学生入居用シェアルーム改修・入居(5戸)、建築系大学生リフォーム(3戸) イ 平成27年度 学生入居用シェアルーム改修・入居(10戸)、建築系大学生リフォーム(5戸) (3) 事業効果 学生、入居者、団地管理者(県)の三者にとって、それぞれ利点がある。 ア 学生の利……安価に入居、貴重な実践活動 イ 入居者の利……自治会活動の活性化 ウ 県の利……団地の魅力アップ (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 大学と連携し、学生がリフォームや地域貢献活動に労力を提供						
2 事業主体及び負担区分 委託料(国45/100・県55/100)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.5人=23,750千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
		国庫支出金								
決定額	13,600	6,075						7,525	13,600	
前年額										